

## 深化 を意図した道徳の時間

### 主題名 「自分と向き合う」

内容項目 3-(3) 強さ・気高さ・生きる喜び

第3学年 A組 21名 指導者 鈴木 雅弥

1 **ねらい** 人間の弱さや醜さに向き合い、それを克服しようとする強さや気高さがあることに気づき、自分を見つめることで、夢や希望など喜びのある生き方を見いだそうとする態度を育てる。

2 **資料名** 二人の弟子 (出典 文部科学省 私たちの道徳 中学校)

### 3 主題設定の理由《指導観》

#### (1) ねらいとする道徳的価値について《価値観》

この世に完璧な人間は存在しない。誰もが心に弱さを持ち、その弱さを克服しようと日々葛藤し、より良く生きようとしている。誘惑に負けて楽な方に流れてしまうこともあるが、良心の呵責と戦う中で、一人の人間として生きていくことへの喜びや様々な行いの美しさに気付いたとき、人間は強く、気高い存在となる。

この時期の中学生は、自分に自信がもてず劣等感や嫉妬心などをもちがちである。一方では、崇高な人生を送りたいという人間のもつ気高さを追い求める心もある。本資料によって、自分だけが弱いわけではないことや自分と向き合うことの大切さに気づき、夢や希望など喜びのある生き方を見いだそうとする態度をはぐくむことができる。

#### (2) 生徒の実態《生徒観》

人間の弱さに向き合い、それを克服しようとする強さや気高さがあることに気づき、夢や希望など喜びのある生き方を見いだそうとする態度を育てるために、学校教育全体で以下の指導を行ってきた。

#### ① 道徳の時間における指導

9月に内容項目 3-(3)「足袋の季節」(出典 光村図書 中学道徳③ きみがいちばんひかるとき)を資料として、人間には弱さを克服しようとする強さや気高さがあることを知り、失敗を糧にして自分を向上させることについて考えた。

#### ② 各教科等での指導

##### ア 教科指導

国語科では、随筆「朝焼けの中で」において、朝焼けという雄大で荘厳なものの美しさを言葉で表現するにはあまりに無力な筆者の姿から、自然の表現力の見事さに人間のそれは及びようのないことを魂に染み通らせ、うちしおれた人が可能性を求めて生きようとする気高さや生きる喜びを感じ取った。

##### イ 特別活動

学級活動の時間では、進路選択と自己の向上について考えてきた。進路学習では、高校調べを行い、自分の将来の目標について考えた。

### ③ 日常での指導

生徒は人間の弱さや醜さについては理解している。誰もが弱さや醜さをもつ反面、強さや気高さを併せもっていることに気付いていない。学級では、日頃から互いの考えや立場を理解し、尊重し合うよう指導を行っているが、他人の意見を真摯に受け止める姿勢までには至っていない。

本時の学習では、資料を通して人間の強さや気高さに目を向けさせ、弱さや醜さを乗り越えて生きることこそすばらしさがあり、そのことを通して人間として生きる喜びを得ようとする態度を育てたい。

本時の授業は「**深化**」を意図して行う。「足袋の季節」を通して、人間の弱さの克服について学習した。それを踏まえ、「二人の弟子」に登場する修行僧の心情を読み取る活動を通して自分と向き合うことの大切さに気づき、弱さや醜さを克服しようとする強さや気高さがあることを信じて人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を育てたい。

#### (3) 資料について《資料観》

この資料は、対照的な性格の修行僧に焦点を当て、二人の心情を読み取るものであり、分かりやすく共感しやすい。

一度は出奔し荒んだ生活を送った道信だが、再び寺に戻りたいという願いを上人は許す。そのことに納得できない智行は、上人に「智行よ、人は皆、自分自身と向き合って生きていかねばならないのだ」と言われる。その意味をはかりかねているとき、一輪の純白な白ゆりに智行は涙を止めることができない。そうした二人の気持ちの変化が描かれている。

道信の心情をとらえることにより、人間の弱さや醜さから立ち直る強さを知り、智行の心情を深く考えることにより、友に厳しくしてしまう醜さに気づき、成長していこうとする二人の心情に思いを馳せることで、自分と向き合い、弱さを乗り越えていこうとする姿勢に、人間として生きることの喜びを感じ取らせたい。

## 4 深化を意図し、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めるための指導の工夫

### (1) 道徳的価値について理解するために

- ・ 資料の内容理解を深めるために、事前に資料を読ませる。
- ・ 本時の主題への方向付けとして、導入で「足袋の季節」を振り返り、誰の心にも弱さがあることにふれる。
- ・ 弱さを乗り越えようとした道信の強さはフキノトウの力強さであることを押さえる。
- ・ もう一度修行することになった道信を許せない智行について、上人の言葉にふれ、その心情を考えさせる。
- ・ 厳しい修行に耐えた智行であったが、純白に輝く白ゆりにその暗い心が圧倒された時の涙について考えさせ、人間としてのおごりや未熟さが智行にあったことに気付かせる。
- ・ 道信と智行が自分に向き合ったことで、生きる喜びが得られたことを押さえる。
- ・ グループでの意見交流の場を設けることで、多様な考えにふれさせる。

### (2) 自分とのかかわりで道徳的価値をとらえるために

- ・ 資料における登場人物の心情の変化から学んだ道徳的価値をもとに、今までの自分を振り返り、自分の心の中の弱さや醜さに打ちかてた経験を書かせ、自分も生きる喜びを得られたことを気付かせる。

### (3) 道徳的価値にかかわる課題を培い、人間としての生き方についての自覚を深めるために

- ・ 「私たちの道徳」 p.120 にある詩を読み、誰にでも欠点や弱点があること、また、誰の心の中にも弱さや醜さがあることに改めてふれ、「人間として生きる喜び」は自分と向き合うこと、つまり、変わろうとする気持ちの変容から得られることを気付かせる。

## 5 本時の展開

過程	学習活動と発問「 」(◎は中心発問) ・予想される生徒の反応	指導上の留意点(○) 及び評価の観点(☆)
導入 (3分)	1 本時の道徳的価値についての方向付けを行う	○「足袋の季節」で、誰の心にも弱さがあることを学習したことを確認し、本時の道徳的価値を伝える
展開 (37分)	2 資料を読んで話し合う <価値理解><人間理解><他者理解>  (1)「フキノトウのどのような姿が道信の気持ちを変えたのですか」 ・まだ雪が覆っているのに、鮮やかな薄緑色  (2)「智行は、道信のことをどのように思いましたか」 ・そんな勝手に許されるはずがない ・道信を許せない  ◎(3)「白ゆりの純白な輝きに智行の涙が止まらなかったのは、なぜでしょう」 ・道信のことがどうしても納得できないから ・人間として未熟だと気付いたから ・道信を許せない自分の醜さに気付いたから ・道信と自分を比較していた愚かさに気づき、変わりたいと思ったから	○資料を読んだ後、道信と智行について押さえる  ○厳しい自然の中で生きるフキノトウの力強さを押さえる  ○智行が道信を許せず、上人の言葉を受け止められないことを押さえる  ○ワークシートを活用し、自分の考えを書かせる ○少人数グループで話し合い、多様な考えにふれさせる ○グループでの話し合いをもとに、自分の考えたことを発表させる ○悔し涙ととらえる生徒には、白ゆりが咲く様子にふれ、自分を振り返り自己の愚かさ・醜さに気づき、変わりたいと思ったからこそその涙であることに気付かせる
終末 (10分)	3 「私たちの道徳」p.120を読んで本時の道徳的価値を理解する  4 自己を振り返る<自己理解> (4)「自分の心の中の弱さや醜さに打ちかてた経験」 ・授業で挙手できなかったが、自分を変えようと積極的に挙手した ・指示を出すことが苦手だったが、学級委員になってできるようになった	○詩を読むことで、資料に描かれた道徳的価値の共通理解を図る  ○ワークシートに自分の経験を書かせる ○数名の生徒に発表させる  ☆自分を見つめ、弱さや醜さを乗り越えようとする思いがもてたか

## 6 板書計画

第二十三回  
二人の弟子  
人間として生きる喜び

智行

- ・真面目
- ・修行をやり遂げた
- ・立派な僧侶になった

道信

- ・修行から逃げ出す
- ・挫折した
- ・死のうか...

道信を許せない

上人

人は皆、自分自身と向き合って生きていかねばならないのだ

白ゆりの絵

暗い心が圧倒された

フキノトウの絵

もう一度修行したい

力強姿でも雪の下に生きていく

白ゆりの純白な輝きに、智行の涙が止まらなかったのはなぜだろう

- ・道信ことがどうしても納得できない
- ・人間として未熟だと気付いたから
- ・道信を許せない自分の醜さに気付いたから
- ・道信と自分を比較していた愚かさ気付き、変わりたいと思ったから

**自分と向き合う**

自分の心の中の弱さや醜さに打ちかてた経験  
いつも授業で手をあげられなかったけれど、  
自分を変えようと積極的になった

## 7 ワークシート

第 \_\_\_\_\_ 回 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( )

### 『二人の弟子』

3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 \_\_\_\_\_

○白ゆりの純白な輝きに、智行の涙が止まらなかったのはなぜだろう。 |



○自分を振り返ろう

\*道徳の時間を振り返ってみよう。

	A	B	C	D
1 資料について、興味を持って読めましたか	A	B	C	D
2 自分の考えを伝えることができましたか	A	B	C	D
3 友だちの考えを聴くことができましたか	A	B	C	D
4 授業の内容について深く考えることができましたか	A	B	C	D